

カムイヌプリ カ エパ クル (神の山にのぼった男)

①

ピラカ ウン クル アネ ヒネ アナニケ
Piraka un kur a=ne hine an=an hike

わたしがすむ ビラカという

アコロ サラコタン ペニケヘ
a=kor Sarkotan penikehe

村の 川かみには、

コアスルアシ ペ カムイヌプリ ネ。
koasuruas pe kamuynupuri ne.

うわさに なだかい、神の山がありました。

ポロシリ セコロ アイェ カムイヌプリ アスル アシ ハウエ
Porosir sekor a=ye kamuynupuri asuru as hawe

ポロシリという その山の うわさを、

アヌ コロ オカアン。
a=nu kor oka=an.

いつも 耳にしていました。

ペ ネ ヒケ、
pe ne hike,

そこで、

「ネイ タ カ アラパアン マ
“nei ta ka arpa=an wa

「なんとかして

ネ ヌプリ、アトゥラシ ワ
ne nupuri, a=turasi wa

その山、神の山に のぼって

ヌプリ タツカ アオシキル チキ ソモ、
nupuri tapka a=osikiru ciki somo,

てっぺんまで いけたなら

エネ カムイ エワク シリ オカ ヒ アヌカラ ヤ!」
ene kamuy ewak sir oka hi a=nukar ya!”

神が すむ ばしょが、どんなどころか 見られるのに」

セコロ ヤイヌアン コロ パテク アナン。
sekor yaynu=an kor patek an=an.

と おもっていました。

ペ ネ ア ヒ クス、シネ アン ベ タ、アコロ サツ トウラシ、
pe ne a hi kusu, sine an pe ta, a=kor Sar turasi,

そして ある日、村の かたわらを ながれる ざる川にそって

アラパアナ アナ アイネ
arpa=an a =an a ayne

さかのぼっていくと

ネ カムイヌプリ オウシケ タ アラパアン、
ne kamuynupuri ouske ta arpa=an,

神の山の ふもとに たどりつきました。

ルウェ ネ ヒネ、
ruwe ne hine,

それから

オロワノ ネア カムイヌプリ ボク タ シレパアン マ
orowano nea kamuynupuri pok ta sirepa=an wa

山の ふもとで

ヤイエノンノイタカン、カムイノミアナイネ オラウン
yayeynonnoitak=an, kamuynomi=an ayne oraun

おいのりを してから

ヌプリ トウラシ ヘメスアン。
nupuri turasi hemesu=an.

のぼりはじめたのです。

エアシリ カ オクワナシ ペ ヌプリ ネ クス
easir ka okuwanas pe nupuri ne kusu

ほんとうに けわしいけわしい山で、

アプunno シイェトクン、チクニ アエシイェタイパ ワ
apunno siyetok un, cikuni a=esiyetaypa wa

まえに ある木を つかみながら

イキアナイネ、ボンノ ボカ ヘメスアン コロ
iki=an ayne, ponno poka hemesu=an kor

のぼっていくと、すこし すずんだところで

フマシ フミ エネ アニ、
humas humi ene an hi,

ものすごい かぜの音が してきました。

ヌプリ タツカ ワ カムイマウ ネ ア ヲ ユアケ マウエ チラナランケ
nupuri tapka wa kamuymaw ne a p yupke mawe ciranaranke

山の てっぺんから、神が おこしたのでしょうか、
ものすごい かぜが ふきおろしてきて

②

タネ カラカラセアン ノイネ フマシ
tane karkarse=an noyne humas

いまにも ころげおちそうに になりました。

エアシリ カ キマテカン ノ フマシ ペ ネ クス
easir ka kimatek=an no humas pe ne kusu

わたしは おどろいて

オラノ イノンノイタカナウエ エネ アニ
orano inonnoitak=an hawe ene an hi

神に こう いのりました。

「ネン ボカ カムイ イエランボクウエン マ、
“nen poka kamuy i=erampokwen wa,

「神よ、どうか わたしに

カムイ エワク シリ アイヌカレ
kamuy ewak sir a=i=nukare

神が すむところを みせてください

カムイ エワク シリ アエパ ヤクン
kamuy ewak sir a=epa yakun

神が すむところさえ みられたら

カムイ エウタンネアン クス ネ ナ。
kamuy ewtanne=an kusu ne na.

わたしは いのちを うしなっても かまいません

ネン ボカ ヌプリ タツカ アイエパレ ワ アイコレ!」
nen poka nupuri tapka a=i=epare wa a=i=kore!”

どうか、山の てっぺんまで いかせてください!」

セコロ ハウエアナン コロ カムイノミアン。
sekor hawean=an kor kamuynomi=an.

と いのりました。

イノンノイタク アナ アナ コロ
inonnoitak=an a =an a kor

なんども おいのりしながら

オラノ ネウン ボカ、
orano neun poka,

なんとか、

シイェトクン、チクニ アエシイェタイェ ワ イキアナイネ
siyetok un, cikuni a=esiyetaye wa iki=an ayne

木に しがみつきながら のぼり

シネ アンチカラ ヌプリ スパトム タ レウシアン
sine ancikar nupuri suptom ta rewsu=an

よるには 山の とちゅうで ねむりました。

ヒネ オロワ エアシリ スイ レイェ ネ ヤ
hine orowa easir suy reye ne ya

目を さますと、はったり、

ニヤイエタイェ ネ ヤ アキ アイネ
niyayetaye ne ya a=ki ayne

木に しがみついたり しながら、

ヌプリ タツカ アオシキル
nupuri tapka a=osikiru

山の てっぺんまで いきつくと、

インカラン ルウェ エネ アニ、
inkar=an ruwe ene an hi,

おどろくような けしきが みえたのです。

エアシリ カ シコリヤク カネ アン、
easir ka sik oriyak kane an,

見わたすかぎりに ひろがる

アトウイ ネノ カネ アン ポロ ト アン ルウェ ネ。
atuy neno kane an poro to an ruwe ne.

まるで うみのような 大きな みずうみ。

ト バケヘ ホマラ カネ ト ケセヘ ホマラ カネ アン
to pakehe homar kane to kesehe homar kane an

はしが かすんで 見えないほどの

シポロ ト アニネ オラ シラン ルウェ エネ アニ。
siporo to an hine ora siran ruwe ene an hi.

大きな みずうみが あったのです。

ネ ト テクサム タ コンプ ヤパヤパ ルウェ エネ アニ
ne to teksam ta konpu yap a yap a ruwe ene an hi

きしべには たくさんの コンプが ながれついでいて

ウセパ パクノ セパ コンプ ヤア ワ オカ
usep pakno sep konpu yap wa oka

その コンプも、とても 大きいのです。

カムイヌプリ カ エパ クル (神の山にのぼった男)

③

オラ アトゥイ オルン チカプ カ オカ。
ora atuy or un cikap ka oka.

インカラン シリ、ウサ サマンベ
inkar=an siri, usa samanpe

アトゥイ オルン チェプ ボロンノ
atuy or un cep poronno

ネ ト オツ タ オカイ ベ ネ ノイネ シリキ
ne to or ta okay pe ne noyne siriki

アエラヤブ トオブ ヌプリ キタイ タ アン ト ネ プ オラ エネ、
a=erayap toop nupuri kitay ta an to ne p ora ene,

アトゥイ オルン チェプカ ボロンノ オカ、アトゥイ オルン チカプカ オカ、
atuy or un cep ka poronno oka, atuy or un cikap ka oka,

ウサ カピウ サイ カ オカ ルウェ アエラヤブ
usa kapiw say ka oka ruwe a=erayap

ルウェ エネ アニ、
ruwe ene an hi,

ト テクサム エピツタ、アラパ ヒ エピツタ、
to teksam epitta, arpa hi epitta,

シウニン シンルシ ネ ア プ アナクネ、
siwnin sinrus ne a p anakne,

エアシリ カ ソホ アカラ アベコロ シラン
easir ka soho a=kar apekor siran

ネプ カ ムン カ イサム ムン ヘトウクパ カ ソモ キ ノ
nep ka mun ka isam mun hetukpa ka somo ki no

ネ シウニン シンルシ パテク ネプカ ケツト ヘネ、アトウルパ ルウェ ネノ カネ
ne siwnin sinrus patek nep ka ketto hene, a=turpa ruwe neno kane

イランマカカ シンルシ ソ アカラ アベコロ シラント テクサム ト オカリ エネ シラン。
iranmakaka sinrus so a=kar apekor siran to teksam to okari ene siran.

セプノ カネ アン ルウェ アエキロロアン
sepno kane an ruwe a=ekiroroan

エアシリ カ カムイ エワク シツタ シレパアン ベ ネ クス
easir ka kamuy ewak sir ta sirepa=an pe ne kusu

エケシンネ オンカミアナ アナ
ekesinne onkami=an a =an a

「エアシリ カムイ エワク シリ
“easir kamuy ewak sir

カムイ イヌカレ ルウェ ネ ア ヤクン アイェ プ ネ クス、
kamuy i=nukare ruwe ne a yakun a=ye p ne kusu,

カムイ オツ タ、タン イウオロツ タ、
kamuy or ta, tan iwor or ta,

イヨロツ クニ プ アネ オアシ シリ ネ ナンコロ ワ」
iyorot kuni p a=ne oasi siri ne nankor wa.”

セコロ ハウエアナン コロ オンカミアナ アナ アイネ オラウン
sekor hawean=an kor onkami=an a =an a ayne oraun

ウェンカス アエラヤブ ウセプ パクノ セプ コンプ パテク オカ ルウェ
wenkasu a=erayap usep pakno sep konpu patek oka ruwe

それから うみどりも いました。

カレイや いろいろな

うみのさかなも たくさん

すんでいるようでした

山おくにある みずうみなのに

うみのさかなや とりが すみ、

カモメまで むれていることに おどろぎました。

それから、

みずうみの ほとりは いちめんに、いけども いけども

みどりいろの コケが むしています。

コケを しきつめたように

ほかの 草は いっぽんも はえていないのです

みどりいろの コケだけが、
まるで じゅうたんを しいたように ひろがつています

みずうみの ほとりを、うつくしい コケが とりまいています。

ひろびろとした すばらしいけしきに 見とれました

やつと、神が すむところに やつてきたのです。

あちこちを おがみながら

「神が すむところを

見せてくださつたのですから、やくそくどおり

この 神が すむところに

わたしは よびよせられることでしょう」

と いいながら、なんども なんども おがみました。

大きな コンプばかり きしべに うちよせていることに

④

アエラヤピ クス オラ
a=erayap hi kusu ora

トウプ レプ アウク ワ アエタイバ ヒネ
tup rep a=uk wa a=etaypa hine

アシケへ アカラ ネア コンプ シケ アカラ ヒネ
a=sikehe a=kar nea konpu sike a=kar hine

トウプ レプ ネ コロカ ボロ シケ ネ アセ。
tup rep ne korka poro sike ne a=se.

ヒネ オロワ スイ ヘトポ
hine orowa suy hetopo

ネア ヌプリ ペシ アプンノ オクワシ ヌプリ ネ プ ネ クス
nea nupuri pes apunno okuwas nupuri ne p ne kusu

アプンノ シヨカ ウン チクニ アキシマ ワ
apunno siyoka un cikuni a=kisma wa

ヤイホライセレアン ランケ コロ ラナ アナ ルウェ ネ アイネ、
yayhorarayser=an ranke kor ran=an =an a ruwe ne ayne,

ヌプニ スプトム パクノ ラナナクス
nupuni suptom pakno ran=an akusu

ネア アシケへ ワ シリキ シリ エネ アニ
nea a=sikehe wa siriki siri ene an hi

コンプ ネ クナク アラム ワ アシケへ アカラ プ
konpu ne kunak a=ramu wa a=sikehe a=kar a p

エアシリ カ ルプネ キナストウンクン ネ ヒネ
easir ka rupne kinasut-un-kur ne hine

エアシリ タンネ サイェ ネ ヤイカラ ワ
easir tanne saye ne yaykar wa

アシケへ ワ シヌシヌ ホラピチッパ ワ、
a=sikehe wa sinusinu horapicitpa wa,

キナストウンカムイ ネノ カネ オカ ワ オロワノ、
kinasutunkamuy neno kane oka wa orowano,

アシケへ ワ シピチピチ シイェタイバ ワ ラプ アイネ、
a=sikehe wa sipicipici siyetaypa wa rap ayne,

ネア コンプ ネ クナク アラム ア プ シネ コンプ カ イサム。
nea konpu ne kunak a=ramu a p sine konpu ka isam.

オピツタ キナスッ カムイ ネ ヒネ
opitta kinasut kamuy ne hine

アシケへ ワ アスッパカラベ ネ クス、
a=sikehe wa a=suppakarpe ne kusu,

シピチピチ ロク アイネ、オピツタ ラプ ワ イサム
sipicipici rok ayne, opitta rap wa isam

ネプ カ アセ ルウェ カ イサム。シリヒ ネ コロカ オラウン、
nep ka a=se ruwe ka isam. sirihi ne korka oraun,

ネウン ボカ イキアナイネ、
neun poka iki=an ayne,

ヌプリ ボク アエバ ルウェ ネ ヒネ、
nupuri pok a=epa ruwe ne hine,

おどろぎながら

二つ 三つ ひっこぬいて、

しばつて、せおいました

二つ 三つでも、大きな にもつに なりました。

それから また

けわいしい 山を ゆっくりと

じぶんの うしろにある 木を つかみながら

すべりおりてきて、

山の ふもとまで おりてきたときでした

せなかの にもつの ようすが、なにか おかしいのです

コンプだとばかり おもつて しばつたのに

大きな ヘビが

ながい とぐろを まいた すがたになつて

バタバタと あばれだして

ヘビの すがたに なつて

ぬけでてしまい

コンプは ひとつも なくなつて しまつたのです。

みんな、大きな ヘビに なつて

にもつから

ぬけだしていつてしまつたのです。

にもつは なにも なくなつてしまいましたが

なんとかして

山を おりて

神のすむところの山にのぼった男

神のすむところの山にのぼった男

あの 神の すむところに よばれてのことでしょう。

と 村の おとこたちに いいました。

おとこたちは びっくりしながら

きいていましたが

それから わたしは ながいきできず

神の山から かえって

二ねんか 三ねん たったころ、

なにかの びょうぎに かかりました。これは やっぱり

あの 神の すむところに よばれるのだ と おもいます

せんぞに むけて いのつても、

わたしには とどきません

神の すむところに よばれていくんですから、と おもいながら

しにゆく ところなのです

と、ひとりの ビラカの おとこが はなしながら

まだ わかいのに なくなったという

いいつたえが あるのです

さる川の 川かみの、神の 山に いった おとこが

わかいうちに しんでしまったことが

むかしばなしだか、おはなしだか、

もう むかしむかしの はなしなので

むかしばなしに なっているんでしょうね。

おしまいですよ。

⑤

⑥

ネ カムイエワクシルン アラバ クニ ヲ アネ オアシ ヒ ネ クニ アラム ルウエ タパン ナ」
ne kamuyewaksir un arpa kuni p a=ne oasi hi ne kuni a=ramu ruwe tapan na.”

セコロ アコタヌ ウン ニシバ ウタラ アエコイソイタク
sekor a=kotanu un nispa utar a=ekoysoytak.

オラノ、アコン ニシバ ウタラ カ シイエトウウイナ
orano, a=kor nispa utar ka siyetuuyna

エラヤブ ロク エラヤブ ロク コロ オカアン ルウエ ネ ア プ
erayap rok erayap rok kor oka=an ruwe ne a p

オホンノ スクバン カ ソモ キ ノ
ohonno sukup=an ka somo ki no

ネ アラパアン マ インカラニ オラ ヘンパク パ カ アナン
ne arpa=an wa inkar=an hi ora henpak pa ka an=an

トウパ レパ アナン コロ オラ ヘム タスマ ヘム シイエイエ アキ シリ ネ ヤクン
tupa repa an=an kor ora hem tasumi hem siyeye a=ki siri ne yakun

ネ カムイ エワク シリ アオアラパ オアシ シリ ネ クニ アラム ヤクン、
ne kamuy ewak sir a=oarpa oasi siri ne kuni a=ramu yakun,

シンリトルン アイヌラツパ ヤッカ、
sinrit or un a=i=nurappa yakka,

アウク カ エアイカブ
a=uk ka eaykap

カムイ エワク シツ タ イヨロツ クニ ヲ アネ クニ アラム コロ
kamuy ewak sir ta iyorot kuni p a=ne kuni a=ramu kor

タブ イサマン オアシ シリ アン ナ
tap isam=an oasi siri an na

セコロ、シネ、ピラカ ウン ニシバ、シネン イソイタク コロ
sekor, sine, Piraka un nispa, sinen isoytak kor

スクポントム エイサム ルウエ
sukuphontom eysam ruwe

エネ アン タパン オルシベ、ウパシクマ ネ アナウエ エネ アン
ene an tapan oruspe, upaskuma ne an hawe ene an

アコロ サラコタン ベテトコホ カムイヌプリ カ エパ クル、
a=kor Sarkotan petetokoho kamuynupuri ka epa kur,

スクポントム オマ オルシベ イソイタク セコロ アイェ コロ、
sukuphontom oma oruspe isoytak sekor a=ye kor,

ウウエベケレ ヘ ネ ヤ、イソイタク ヘ ネ ヤ、
uwepeker he ne ya, isoytak he ne ya,

タネ オラ、イネヘンパクパ カ シラン ペ ネ クス
tane ora, inehenpakpa ka siran pe ne kusu

ウウエベケン ネ アイェ ハウエ ウン ソモ ネ！
uwepeker ne a=ye hawe un somo ne!

パクノ クイエ ハウエ ネ ワ。
pakno ku=ye hawe ne wa.

カムイヌプリ カ エパ クル (神の山にのぼった男)

⑤

オロワノ スイ アコロ ペツ ペシ サナナイネ、
orowano suy a=kor pet pes san=an ayne,

アコタヌ タ シレパアン ルウエ ネ ヒネ オラウン、
a=kotanu ta sirepa=an ruwe ne hine oraun,

「タブネ カネ エアシリ、
“tapne kane easir,

カムイ エワク シリ
kamuy ewak sir

アコロ ペツ ベテトコホ
a=kor pet petetokoho

コアスルアシ ペ カムイヌプリ ポロシリ ネ クス、
koasuruas pe kamuynupuri Porosir ne kusu,

カムイ エワク シリ アヌカラ ワ
kamuy ewak sir a=nukar wa

オラ サナン カトウ エネ アニ、
ora san=an katu ene an hi,

ヘメスエアイカブアン ノイネ、
hemesu-eaykap=an noyne,

ユブケ カムイマウ アニ、
yupke kamuymaw ani,

アイカラカラセレ ルヤブト ネ ヤ カムイマウ ネ ヤ アニ、
a=i=karkarsere ruy apto ne ya kamuymaw ne ya ani,

ヘメスエアイカブアアン ノイネ フマシ ワ クス、
hemesu-eaykap=an noyne humas wa kusu,

ヤイエイノンノイタカン ハウエ エネ アニ
yayeynonnoitak=an hawe ene an hi

『カムイ エワク シリ アイヌカレ ヤクン、
‘kamuy ewak sir a=i=nukare yakun,

カムイ エワク シツ タ イヨロツ クニ ヲ アネ ナ』
kamuy ewak sir ta iyorot kuni p a=ne na.’

セコロ、ヤイエイノンノイタカナイネ イキアナイネ
sekor, yayeynonnoitak=an ayne iki=an ayne

ヘメスアン マ アヌカラ カトウ エネ タブ ネ タブ ネ
hemesu=an wa a=nukar katu ene tap ne tap ne

ト ピシカン エピツタ シウニン シンルシ ネ ア プ アナク、
to piskan epitta siwnin sinrus ne a p anak,

ネプ カ ソ アカン ル ネノ モシマ ムナナナク シネブ カ イサム ノ、
nep ka so a=kar ru neno mosma mun anak sinep ka isam no,

ト オカリ シラン ルウエ アエラヤブ、
to okari siran ruwe a=erayap,

オロワ アトウイ オルン チェア アトウイ オルン チカブ パテク オカ ルウエ ポ ヘネ
orowa atuy or un cep atuy or un cikap patek oka ruwe po hene

アエラヤブ コロ、サナナ ルウエ タパン ヤクン
a=erayap kor, san=an a ruwe tapan yakun

ラヤン ヤクン
ray=an yakun

さる川に そって くだっていき

村に たどりつきました。

「こんなふうに

神の すむところ

村の 川かみの

うわさに なだかい 神の山

ポロシリを みて

かえってきたんですよ

のぼることも できないような

ものすごい かぜが ふいて

ころげおちそうになって、大雨と かぜの せいで

もう のぼれないんじゃないか と おもったので

こう、おいのりしたんです。

『神の すむところを 見せてくれるなら、

わたしは、しんで 神のところに いくことになっても かまいません』

と おいのりしながら

のぼってみると、こんな けしきが みえました

みずうみの きしには みどりのコケばかり

なにかを しきつめたようで、草いっぱい、はえていませんでした。

いちめんが そんなけしきでした。

うみのさかなや とりも いることに

おどろいて 山を おりてきたんですから、

わたしが しぬとしたら